

**令和5年度補正予算
「食料安全保障強化に向けた革新的新品種開発プロジェクト」及び「シャインマスカット未開花症緊急対策」
の公募について**

公募期間

令和5年12月26日～令和6年1月23日12:00

生物系特定産業技術研究支援センター（BRAIN）
農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究統括官室

1. 食料安全保障強化に向けた革新的新品種開発プロジェクト 事業概要



令和5年度補正予算額 500百万円

<対策のポイント>

人手を多く必要とし生産性の向上が求められている品目について、**生育・栽培特性をスマート技術向けに改良した品種を開発**し、高い生産性と環境負荷低減の両立を推進します。

<事業目標>

スマート技術に対応した品種を開発し、農作業のスマート化を図り、生産性の向上等を推進
[令和12年度まで]

<事業の内容>

人手を多く必要とし生産性の向上が求められている果樹、野菜、イモ等を対象とし、品目ごとに**スマート技術の効果を最大限に発揮できる最適な特性へと改良した基盤的新品種を開発**します。

2. 食料安全保障強化に向けた革新的新品種開発プロジェクト 各公募分野の詳細



公募分野

①スマート技術向けの特徴を持つ**穀物等品種**の開発

②スマート技術向けの特徴を持つ**野菜品種**の開発

③スマート技術向けの特徴を持つ**果樹品種**の開発

①スマート技術向けの特徴を持つ穀物等品種の開発

研究内容

農業従事者の減少に伴い生産性の向上が求められている穀物等を対象として、省力的なスマート技術の効果を最大限に発揮する生育・栽培特性や病虫害抵抗性・メタン低排出性等の環境負荷低減能力を持つ生産性が高い基盤的な新品種の開発を目指す。

達成目標

令和7年度までに、

1. カンショについて収穫時の損傷が少ないなど機械化栽培に適し、2つの主要産地の栽培に適した品種候補を2つ以上開発。
2. バレイショについて収穫時等の打撲による黒変が少ない品種候補を1つ以上開発。
3. テンサイについて病害抵抗性を持った直播適性のある品種候補を1つ以上開発。
4. イネについてパンやめん等の米粉利用適性に優れ、直播等のスマート技術への適性と病虫害抵抗性・メタン低排出性等の形質を備えた品種候補を3つ以上開発。

研究費の上限額

※間接経費を含む

185,000千円以内/2年

研究実施期間

2年以内、研究の実施期限は令和8年3月末まで

②スマート技術向けの特徴を持つ野菜品種の開発

研究内容

野菜生産においては農業従事者の高齢化により問題となっている収穫作業の労力を軽減するため、スマート技術の普及に必要となる、機械収穫適性等を有する高品質な基盤的新品種の開発を目指す。

達成目標

令和7年度までに、

1. イチゴについて長果梗枝を示す機械収穫適性の高い品種候補を1つ以上開発。
2. カボチャについて着果位置が安定した機械収穫適性の高い品種候補を1つ以上開発。
3. キャベツについて茎が長く機械収穫適性の高い性質を持つ品種候補を1つ以上選抜。
4. キュウリについて黄化えそ病および退緑黄化病に抵抗性を持ち機械収穫がしやすい品種候補を1つ以上開発。

研究費の上限額

※間接経費を含む

106,000千円以内/2年

研究実施期間

2年以内、研究の実施期限は令和8年3月末まで

③スマート技術向けの特徴を持つ果樹品種の開発

研究内容

スマート技術の導入が遅れている果樹において、農業者の減少下でも生産基盤の維持・増強を図るため、スマート技術の導入を後押しする機械収穫適性等を有する高品質な基盤的新品種の開発を目指す。

達成目標

- 令和7年度までに、
1. ブドウについて高温でも着色がよく収穫適期を判定しやすい品種候補を1つ以上開発。
 2. ナシについてV字等斜立樹形にした際に短果枝着生性に優れ機械収穫適性の高い品種候補を1つ以上開発。
 3. モモについて硬肉等機械収穫適性等を有する品種候補を2つ以上開発。
 4. クリについてイガごと落ちる機械収穫適性を持ち収穫期の異なる品種候補を2つ以上開発。

研究費の上限額

※間接経費を含む

159,000千円以内/2年

研究実施期間

2年以内、研究の実施期限は令和8年3月末まで

3. シャインマスカット未開花症緊急対策 事業概要

令和5年度補正予算額 150百万円

<対策のポイント>

未開花症発生園地における土壌条件や、気象条件、栽培条件、樹体栄養分析等の調査結果を踏まえ、未開花症の発生軽減に向けた栽培管理技術等の開発・実証に取り組み、**各地域における発生状況に応じた対応策の提示**を行います。

<事業目標>

高収益性のぶどうの高品質かつ安定供給の実現による産地ブランドの維持や国際競争力強化
[令和10年度まで]

<事業の内容>

複数年にわたる全国的な発生実態の調査を行い、未開花症の発生軽減に向けた栽培実証に取り組み、園地の発生状況を考慮した対応マニュアルの提示を行います。

4. シャインマスカット未開花症緊急対策 公募分野の詳細

研究内容

未開花症について、提案者がこれまでに得ている知見に基づき、複数年にわたる全国的な発生実態の調査および発生園地の詳細な調査に基づいた要因解明を行い、未開花症発生軽減に向けた技術開発・実証を行う。

達成目標

令和7年度までに、
園地の発生状況に応じた対応策の提示を行う。

研究費の上限額 ※間接経費を含む

135,000千円以内/2年

研究実施期間

2年以内、研究の実施期限は令和8年3月末まで

① 書類審査

- 外部有識者及び行政担当者による書類審査により、面接審査の対象とする研究課題を選定

※書類審査の結果は公表しません。

② 面接審査

- 外部有識者及び行政担当者による面接審査により、採択候補となる研究課題を選定

③ 採択課題の決定

- 採択候補の選定の後、農林水産省の運営管理委員会の承認を経て採択課題として決定

※審査結果を踏まえ、研究計画の見直し、研究費の減額、研究実施期間の短縮等の条件が付される場合があります。

④ 審査基準（55点満点+加算点数）

審査項目	点数
1. 研究内容の新規性・優位性	5点
2. 研究開発目標や研究計画方針の整合性	10点
3. 研究開発目標の明確性・達成可能性	10点
4. 技術の普及可能性	10点
5. 研究計画及び研究開発経費の妥当性	10点
6. 研究実施体制	5点
7. 情報管理実施体制	5点

+

加算項目	点数
環境負荷低減事業活動の促進等	5点

- ※1 各審査項目を、A～Eの5段階で評価
- ※2 審査点数が満点の5割未満の点数の応募課題は採択しない。

6. 公募から委託契約までの流れ（予定）

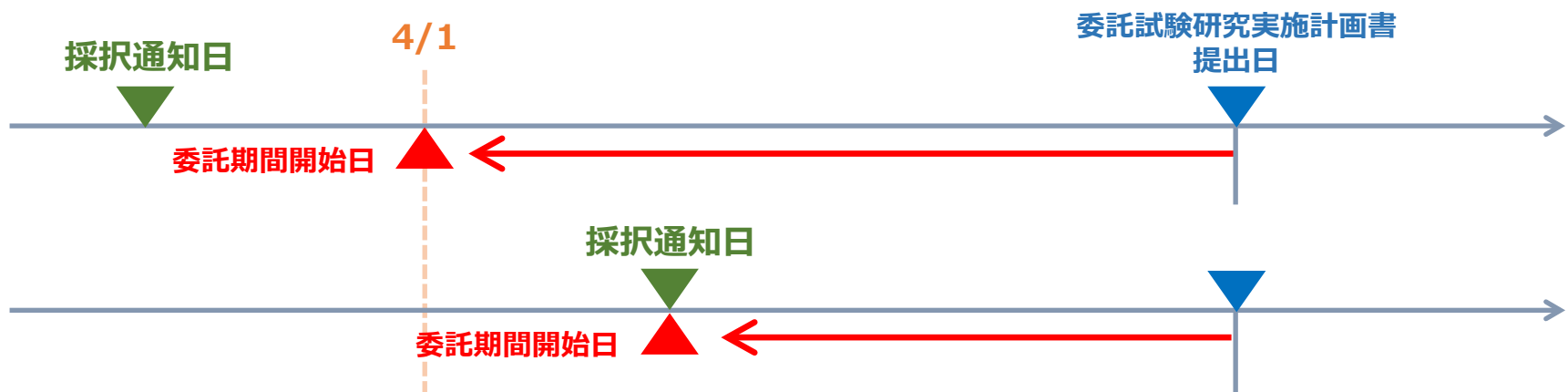
令和5年12月26日	公募要領の公表・公示
令和6年1月23日（12:00）	公募受付締切
2月中旬～下旬	書類審査
2月中旬～3月上旬	面接審査
3月下旬	採択課題（委託予定先）の決定・公表
4月以降	委託契約の締結

※スケジュールは、審査状況等により変更することがあります。

6. 契約手続き

- 生研支援センターは、代表機関等との間で当該年度に係る委託契約を締結します。
- 本事業の委託期間は、委託試験研究実施計画書提出日から最大2ヶ月前の日（計画書の提出日が採択通知日から2ヶ月以内の場合は採択通知日か令和6年4月1日のいずれか遅い日）まで、委託期間開始日を遡ることが可能です。
- また、次年度以降も研究を継続することとなった場合、原則として次年度の4月1日が試験研究開始日となります。
- なお、採択時や評価時の条件が付されている場合は、この条件に合致していることが前提となり、仮に契約締結に至らなかった場合には、受託機関の自己負担となりますので、ご注意ください。

<初年度の契約イメージ>



最大2ヶ月遡り可能（あるいは採択通知日か4/1のいずれか遅い日まで）

7. 公募に関するお問合せ

○ 事業内容に関するお問い合わせ

農林水産省農林水産技術会議事務局研究統括官（生産技術）室

担当：戸川、尾崎 E-mail : seisang-hosei@maff.go.jp

○ 公募全般に関するお問い合わせ

生研支援センター 事業推進部 イノベーション創出課 担当：高田、伊藤、小坂

E-mail : hinshu-brain@ml.affrc.go.jp

○ 契約事務について

生研支援センター 研究管理部 研究管理課 担当：舘澤、天野

E-mail : brain-jimu@ml.affrc.go.jp

○ 研究費の不正使用及び不正受給並びに研究活動における不正行為について

生研支援センター 研究管理部 研究管理課 研究公正室

E-mail: kenkyuhusei@ml.affrc.go.jp

(参考) e-Radでの応募①

応募期間：令和5年12月26日（火）～令和6年1月23日（火）12:00まで

応募する際には、公募要領に従い、提案書を日本語で作成してください。
作成した提案書は、「**府省共通研究開発管理システム（e-Rad）**」で受け付けます。

提案書は郵送や直接の持ち込み、メール等では一切受け付けません。

- e-Radの使用にあたっては、事前に「研究機関の登録」及び「研究者の登録」（個人の場合は「研究者の登録」だけ）が必要となります。**登録手続きに2週間程度を要する場合があります**ので、余裕をもって手続きを行ってください。
- 応募締切期限直前は、応募が殺到し、e-Radシステムがつながりにくくなる可能性があります**ので、余裕をもって、応募書類のe-Radへの応募登録を行ってください（※）。

※応募段階では、少なくとも、申請者がe-Radの登録を済ませておく必要があります。申請者以外で、応募までにe-Rad登録が間に合わなかった場合は、委託契約締結までに登録を済ませてください。

◆情報提供サイト：e-Radポータルサイト（<https://www.e-rad.go.jp/>）

◆e-Radの操作方法に関する問い合わせ先：
e-Radヘルプデスク

TEL 0570-057-060

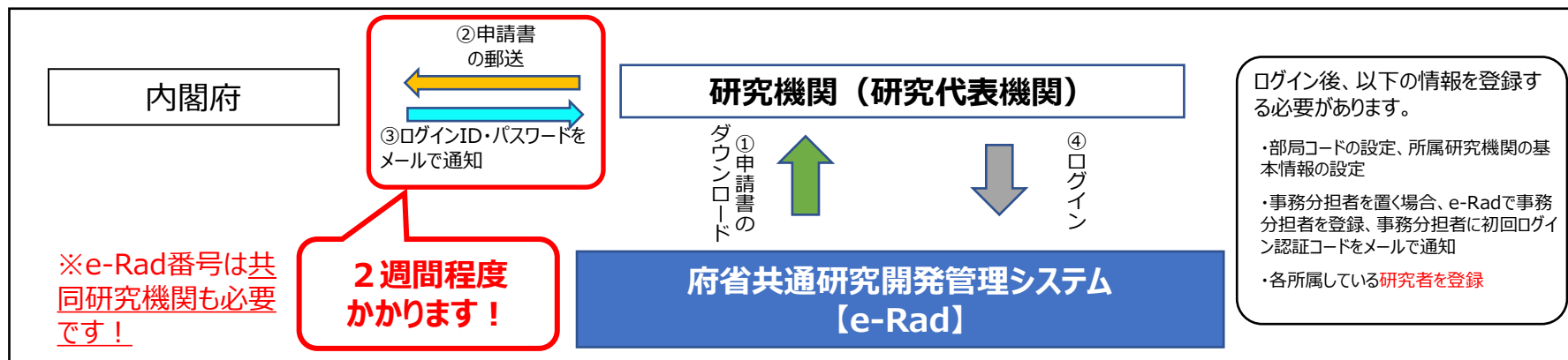
受付時間 9:00～18:00

※土曜日、日曜日、国民の祝日及び年末年始（12月29日～1月3日）を除く

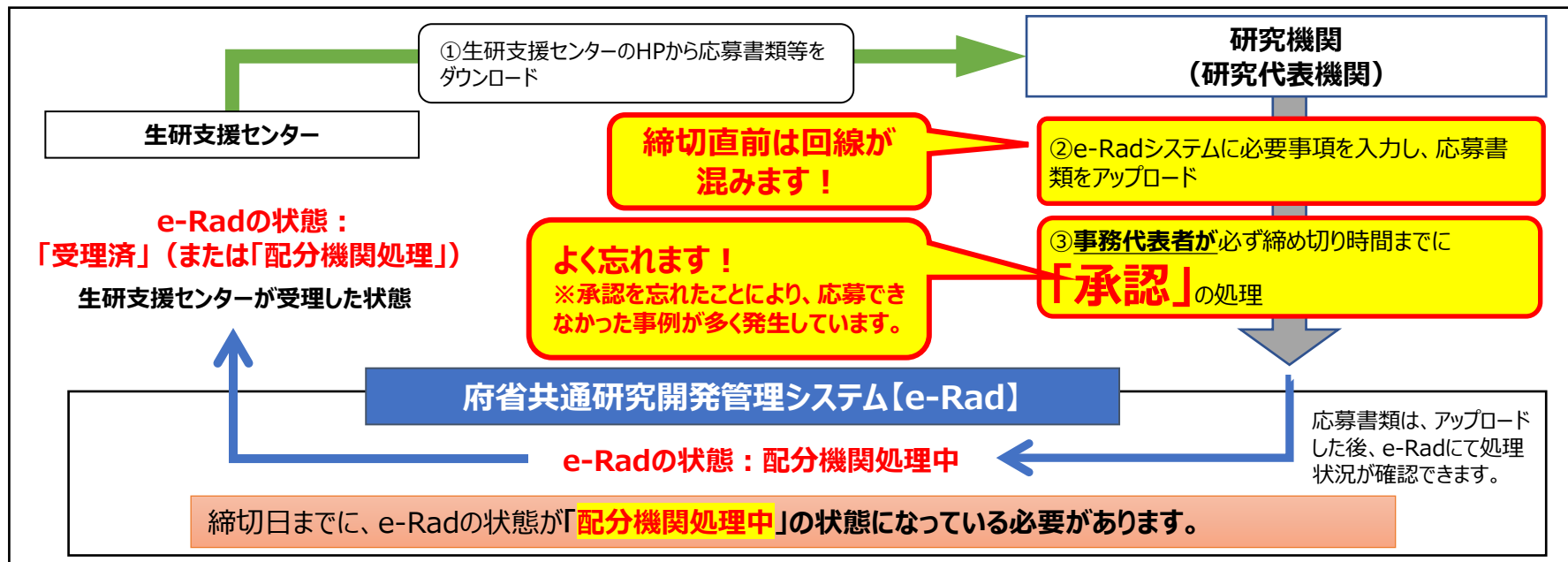


(参考) e-Radでの応募②

○研究機関の登録申請手続き (応募までの事前準備)



○提案書の応募手続き



(参考) 研究インテグリティに関する情報の事前登録① (e-Rad)

国際的に信頼性のある研究環境を構築するため、研究者及び大学・研究機関等における研究の健全性・公正性（研究インテグリティ）の自律的な確保を支援することとしています。

このため、競争的研究費の不合理な重複及び過度の集中を排除し、研究活動に係る透明性を確保しつつ、エフォートを適切に確保できるかを確認するため、研究インテグリティに関する情報の提出を求めることになっています。

研究インテグリティに関する情報は、以下の手順で、応募前に登録をお願いいたします。



①「研究者情報の確認・修正」をクリックしてください。

(ウ) 【所属研究機関】タブ



②「研究者情報の修正」の画面で「所属研究機関」タブをクリックしてください。この画面で表示される「e-Rad外の研究費の状況および役職と所属機関への届け出状況」に関する情報の入力してください（次頁）。

(参考) 研究インテグリティに関する情報の事前登録② (e-Rad)

e-Rad外の研究費の状況および役職と所属機関への届け出状況

(1) e-Rad外の研究費

契約の種類	相手機関(相手機関の国名) 制度名 (研究期間)	研究課題名	予算額	エフォート	機密保持契約締結有無	削除
補助金	相手期間1 アフガニスタン 制度名1 (2020年11月~2021年12月)	研究課題名1	123,456,789 円	99 %	有	<input type="checkbox"/>
助成金	相手期間2 アゼルバイジャン 制度名2 (2030年02月~2031年11月)	研究課題名2	334,455 円	1 %	有	<input type="checkbox"/>

行の追加 選択行の削除

(2) 兼業、外国の人材登用プログラムへの参加、あるいは雇用契約のない名誉教授等

兼業、外国の人材登用プログラムへの参加、あるいは雇用契約のない名誉教授等	相手機関の所在地	削除
外国で兼業1	アゼルバイジャン	<input type="checkbox"/>
外国で兼業2	アゼルバイジャン	<input type="checkbox"/>

行の追加 選択行の削除

(3) 誓約状況
寄附金等や資金以外の施設・設備等の支援を含む、自身が関与する全ての研究活動に係る透明性確保のために必要な情報について、関係規程等に基づき所属機関に適切に報告しているか。
 報告している

戻る 研究者の削除 **この内容で登録 >**

③他府省を含む他の競争的研究費、国外を含むその他の研究費の応募・受入状況（制度名、研究課題、実施期間、予算額、エフォート等）を入力してください。
なお、エフォートの合計は100%を超えないようしてください。

「機密保持契約締結有無」で「有」を選択した場合は、エフォート以外への入力はありません。
なお、予算額の提出が難しい場合は「0」と入力してください。

④全ての所属機関・役職（兼業や、外国の人材登用プログラムへの参加、雇用契約のない名誉教授等を含む。）を入力してください。

⑤寄附金等や資金以外の施設・設備等の支援を含む、透明性確保のために必要な情報を関係規程等に基づき所属機関に適切に報告している場合は、必ずチェックを入力してください。ここを入力しないとエラーとなり、応募ができません。

入力後はここをクリック